

Economic Indicators

発表日: 2020年5月15日(金)

企業物価指数(2020年4月)

～原油価格の大幅下落を受け前月から大きく低下、先行きも低迷は続く見通し～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

エコノミスト 奥脇 健史 (TEL: 03-5221-4524)

(単位: %)

		国内企業物価				最終消費財 (国内品)		国内企業物価 (連鎖指数)		輸出物価 (円ベース)		輸入物価 (円ベース)	
		前期比	前期比※	前年比	前年比 (消費税除く)	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
	4月	0.4	0.4	1.3	1.3	0.7	0.8	0.4	1.4	0.4	0.2	0.3	1.5
	5月	▲0.1	▲0.1	0.7	0.7	0.0	0.3	▲0.2	0.7	▲1.4	▲2.6	▲0.6	▲1.9
	6月	▲0.6	▲0.6	▲0.2	▲0.2	▲0.5	▲0.4	▲0.4	0.1	▲1.7	▲4.3	▲2.0	▲5.8
	7月	▲0.1	▲0.3	▲0.7	▲0.7	0.0	▲0.5	▲0.1	▲0.4	▲0.3	▲5.0	▲1.9	▲8.4
	8月	▲0.2	▲0.2	▲0.9	▲0.9	▲0.3	▲0.7	▲0.3	▲0.7	▲1.3	▲5.9	▲0.6	▲8.5
	9月	0.0	▲0.1	▲1.1	▲1.1	0.1	▲0.8	0.1	▲0.8	0.0	▲6.3	▲0.8	▲9.7
	10月	1.2	1.5	▲0.3	▲1.9	▲0.4	▲1.9	1.2	0.0	0.4	▲6.3	0.3	▲10.9
	11月	0.1	0.1	0.2	▲1.4	0.1	▲1.1	0.1	0.4	0.2	▲6.1	0.3	▲11.3
	12月	0.1	0.1	0.9	▲0.7	0.4	0.2	0.1	1.0	0.1	▲4.4	1.0	▲6.7
2020	1月	0.1	0.1	1.5	0.0	▲0.2	0.6	0.1	1.6	0.3	▲1.5	0.6	▲0.8
	2月	▲0.4	▲0.4	0.8	▲0.8	▲0.4	▲0.2	▲0.4	0.9	0.2	▲2.2	0.1	▲1.8
	3月	▲0.9	▲0.9	▲0.4	▲2.0	▲0.9	▲1.4	▲0.8	▲0.2	▲2.3	▲5.1	▲4.7	▲7.7
	4月	▲1.5	▲1.5	▲2.3	▲3.7	▲1.5	▲3.6	▲1.4	▲2.0	▲1.1	▲6.6	▲5.6	▲13.1

(出所) 日本銀行「企業物価指数」

※は夏季電力料金調整後の値。

○ 原油価格の大幅な下落を受け、国内企業物価は3月から低下幅を拡大

4月の国内企業物価は前月比▲1.5% (コンセンサス: 同▲0.8%、レンジ: 同▲1.9%～▲0.4%)、前年比▲2.3% (コンセンサス: 同▲1.4%、レンジ: 同▲2.4%～▲1.2%) と、コンセンサスを下回る大幅な低下となった。また、消費税を除いた場合でみると前年比▲3.7%となった。

前月比で内訳をみると、原油価格の大幅な下落を受けて石油・石炭製品が前月比▲19.6% (寄与度: ▲1.15%pt) と、3月から低下幅がさらに拡大した。また、4月に薬価改定が行われたこともあり、化学製品が同▲3.4% (同: ▲0.28%pt) とマイナスに寄与している。一方、豚肉価格の上昇などにより、農林水産物が同+0.9% (同+0.03%pt) と上昇した。4月の国内企業物価は、新型コロナウイルス感染拡大による商品市況の大幅な悪化を主因に、3か月連続の低下となった。足下で商品市況の低迷は続いていることなどから、先行きも前年比マイナスでの推移が続くとみられる。

輸入物価指数は契約通貨ベースでは前月比▲6.0%、円ベースでは同▲5.6%となった。契約通貨ベースでみると、原油価格の大幅な下落を背景に、石油・石炭・天然ガスが前月比▲20.4% (寄与度▲5.62%pt) と大きく低下した。商品市況の低迷は続いていることから、5月以降についても前年比マイナスでの推移となる可能性が高い。

○ 需要段階別・用途別指数は2か月連続の下落、5月以降も低迷が続く見通し

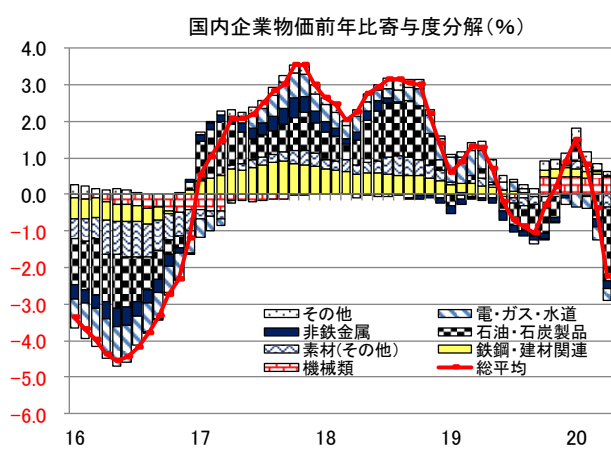
需要段階別・用途別指数 (国内品+輸入品) をみると、素原材料は前月比▲10.5% (前年比▲20.4%)、中間財は同▲1.9% (同▲5.1%)、最終財は同▲0.9% (同▲3.2%) となった。また、消費者物価との関連の深い消費財の国内品は同▲1.5% (同▲3.6%) となった。商品市況の低迷などを

背景に、素原材料を中心に下落幅を拡大させた。5月以降も低迷は続く見通しで、消費者物価もその影響を受ける可能性は高いだろう。

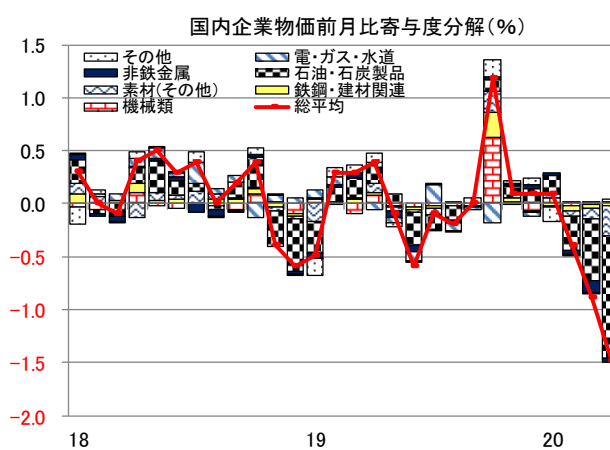
○ 国内企業物価は5月以降も前年比マイナスは続く見込み

以上より、4月の国内企業物価は3か月連続の低下となり、低下幅も大きく拡大している。新型コロナウイルス感染拡大を受け、原油価格が大幅に下落したことが主因である。

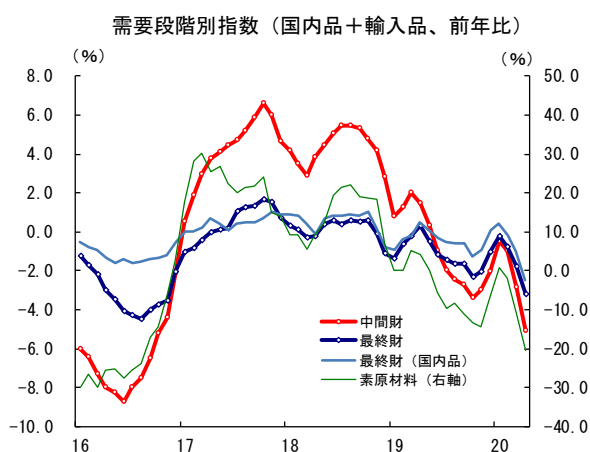
足下では、世界各国で経済活動再開の動きがみられているも、再開は段階的なものにとどまっており、経済活動の停滞は続く見通しである。下落の主因である原油価格（ドバイ）についても、20ドル台後半と低水準となっている。加えて、原油価格の下落は4か月程度ラグを持って電力料金などに反映されるため、今後はそれも国内企業物価の下押し圧力となるだろう。5月以降についても、国内企業物価は前年比マイナスでの推移が続く可能性が高い。



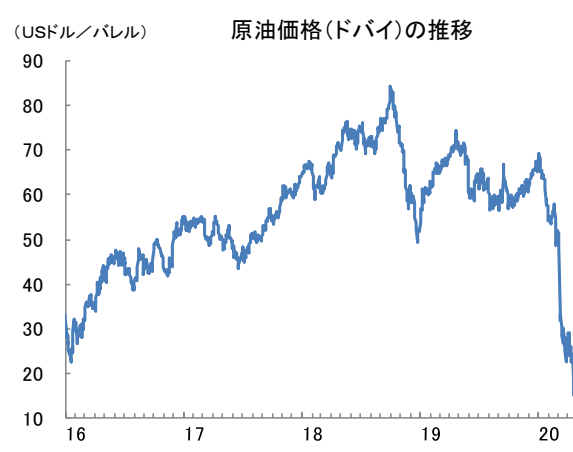
(出所) 日本銀行「企業物価指数」



(出所) 日本銀行「企業物価指数」



(出所) 日本銀行「企業物価指数」



(出所) Bloomberg

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。